

# 萩原小学校だより

1年全児童  
2～6年家庭数配付

学校教育目標  
めざす子ども像

心身共に健康で知・徳・体の調和が取れ、自主的で実行力のある子どもの育成  
かしこく、たくましく、思いやりのある子ども



- 進んで学び、よく考え、正しく判断する子ども
- 礼儀正しく、なかよく協力し、思いやりのある子ども
- 元気でたくましく、ねばり強い子どもを育てる



北九州市立萩原小学校 校長 城戸 正三

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語，算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

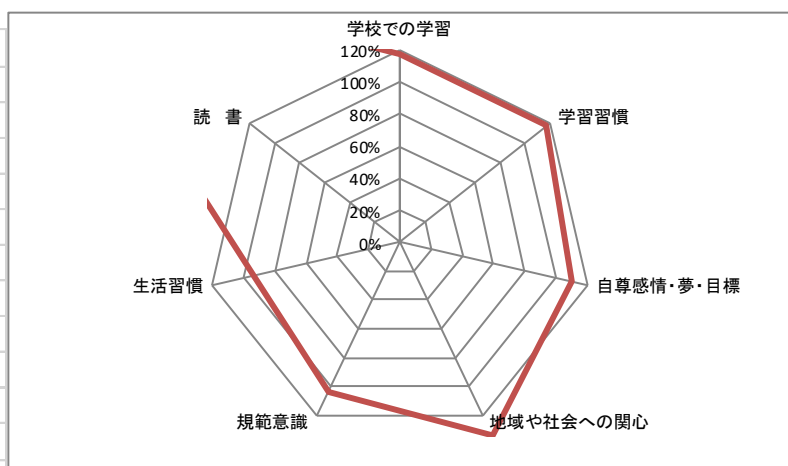
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	・全国平均を上回っており、無答率も低い ・文章の中から必要な情報を見つけて読む能力(選択式)の正答率が高かった。必要な情報を見つけて書いたり、要約する能力も全国平均と比較すると高かった。修飾語と被修飾語の関係をつえたり、漢字の書き取りの一部に課題が見られた。	上回っている
算数	・全国平均を上回っており、無解答率も低かった。特に、求め方の方法や根拠を記述する問題は、どれも全国に比べ正答率が高い。自分の考えを表現する力が身に付いてきている。 ・どの領域の学習内容も、正答率が高い。	上回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



#### 質問紙調査の結果分析

- ・自分の考えを表したり、友達と話し合い、考えを深めたり、広げたりする学習に対する意識が高くなった。また、家庭での学習時間も1時間以上している児童の割合が全国に比べ多い。
- ・読書する時間も30分以上している児童が全国に比べ多かった。
- ・「自分によいところがある」「夢や目標をもっている」「困っている人を助けたい」「友達と協力することが楽しい」と答える児童が多く、自他ともによりよく関わろうとする意識が高い傾向にある。
- ・全国と比べ、「決まった時間に寝る、起きる」「スマホやパソコンなどの使い方の約束を守れている」児童の割合が低かった。また、「1日に1時間以上ゲームをしている」児童の割合が増えた。生活習慣についてやや課題がある。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

- ・どの教科においても、主体的・対話的な学習を積極的に取り入れ、今後も質の高い学習活動を継続的に行っていく。そのために、グループでの話し合い活動などを積極的に取り入れる。
- ・漢字や計算などについて、「萩原タイム」やICTの活用、読書、等の取組を継続し、基礎的な内容の定着を図る。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・今後も、よりよい取組をしている児童の自主学習ノートの掲示や、家庭学習ハンドブックを活用するなど、家庭学習に主体的に取り組めるようにしていく。
- ・時間を意識し、規則正しい生活習慣が身に付いていくよう、家庭へのお知らせや協力を呼びかけるなど、啓発を行っていく。